

## 改正電帳法セミナー 取引先など140人参加

高知銀・幡多信金

【高松】高知銀行と幡多信用金庫(高知県)は6月22日、高知市内のホテルで土業者組織ビジネスサポートこうち(BSK)、高知法



座談会で意見交換するBSKの中嶋代表理事(左)と会計ベンダーの担当者ら(6月22日、高知市内のホテル)

人会とともに改正電子帳簿保存法(電帳法)セミナーを開催した。

セミナーはBSKの主催で2022年度2回目の開催。企業の経理担当者など140人が参加した。

第1部では、BSK代表理事で税理士の中嶋氏が1月に施行さ

れた改正電帳法の概要や課題、電子取引データの保存方法など企業の担当者が留意すべきポイント、対策について解説した。

第2部では「改正電帳法の疑問と解決法」をテーマとした座談会を実施。中嶋氏を司会とし、会計ベンダー4社(ピー・シー・エー、

オービックビジネスコミュニケーションズ、ミロク情報サービス、TKC)の担当者が電子帳簿保存ツールとその導入について意見交換した。

中嶋氏は「インボイス制度、電子帳簿導入に向けて計画を作り、経営合理化を進めてほしい」と参加者に訴えた。